



**栄光園だより**  
第128号  
2022年7月29日発行  
発行 栄光園  
社会福祉法人  
別府市南荘園町3組  
〒874-0904 電話 (23) 2827  
http://www.eikoen.jp/  
編集 広報誌編集委員会  
印刷 大野印刷株式会社  
別府市青山1-7 電話 (21) 0505

# 「自分の思いを言葉で伝える」ということ



西南女学院大学  
保健福祉学部福祉学科

講師 文屋 典子

栄光園評議員

幼児期の子どもが、自分なりの言葉を使って、思いを精一杯伝えようとする姿はとても微笑ましいものです。子どもが急速な勢いでことばを獲得する時期、保育所の生活の中で出会う驚きや発見、心を動かされる体験は「伝えたい」「気持ちの原動力になります。そして、一生懸命に言葉を選びながら伝えようとする子どもを、身を乗り出すように心と体を傾け、真剣に聴く友だちや保育者の姿は、伝えようとする頑張りの後押しします。多くの場合、保育者の「聴く」姿は子どもたちの「聴く」姿のモデルになっっています。このような相互作用を通して、子どもたちは言葉で伝えることを楽しいと感じ、

自分の思いを安心して伝えることができるようになり、言葉はさらに豊かになり、表現する力が養われていきます。ところが、こうして幼児期に表現することの喜びに出会った子どもたちがある時期になると、自分の思いを言葉で伝えることに困難を感じる経験をすることがあります。

ある20代の女性は、中学生の時、学校に行けない日々が続きました。「なぜ学校に来られないのか、その理由をはっきり言いなさい」と自宅に押しつけてくる担任に、毎晩のように詰め寄せられたといいます。

理由がないわけではない。様々な出来事や思いがありすぎて、何をどう伝えたらいいのかわからない。先生に反抗する気持ちなど抱いていないけれど、先生の前に立つと言葉を失ってしま

う。そんな自分を、先生はきつと反抗的な生徒だと思っているのではないだろうか、そう思うとまた言葉がみつからない。すでに私は「学校に行けないダメな生徒」なのだから、何を言っても、先生には否定されるかもしれない。だとしたら苦労して見つけた言葉も無駄になる。様々な思いを巡らせる中、彼女は「思いを言葉にすることができなくなってしまう。そしてある日、担任に言われた言葉が今でも忘れられないと言います。「あなたよりずっとしんどい思いをしているのに、頑張っている人はたくさんいるんだよ！」

思いは言葉にしなければ伝わらない。言葉で表現できないのは思いや考えがないのと同じ。このような評価・判断の前に、彼女の「しんどい思い」も「今、直面している状況や思いを言葉にできないつらさ」も、誰からも理解してもらえないこと、気づいてさえもらえないことへと固定化されてしまいました。

思春期臨床に長年携わっている精神科医の青木省三は、思春期のもやもやとした気持ちや感情を言葉にする「言語化」について、「もし言語化がなされるとしたら、それは強制のもとに行われる、話させられるというようない受動的なものではなく、時期が熟し、自ずと言葉になるような、あくまでも青年の側からの主体的なものを大切にしたい」と言います。また、話を聞いている中で思い浮かんでくる「ぼんやりとしたストーリーのようなものは、



## 思春期のことば

面接の中で改めて尋ねて細部を埋め合わせるなどして「くつきりとしたストーリーにしよう」としないうことが大切なように思う」と指摘します。

「伝えたいこと」を「適切な、正しいことばで」伝えることが重視される幼児期とは異なり、思春期・青年期の「自分の思いを言葉で伝える」作業は、時として先の見えない長く苦しい作業となります。幼児期に比べるとたくさんさんの言葉や表現を獲得しているのに、「自分の思いを伝えること」がとても難しいことになってしまふのです。彼らが自分の思いと向き合い「言語化」しようとする姿に寄り添うとき、保育所で「思いを懸命に言葉で伝えようとする」子どもを励まし応援する保育者の姿を思い浮かべます。

保育所の子どもたちが、友だちや保育者に励まされて「自分の思いを言葉で伝える」ことを成し遂げていくように、思春期・青年期の子どもたちにも、安心して自分の思いを自分らしく語ることのできる環境が、そしてそのときが来るまでたわいのない言葉を交わしながら関係性を温めるような関わりが求められると考えます。彼らが少しずつ紡ぎ出す言葉を受けとめ、支えつつ、「思いを言葉にする」時間にゆっくりと寄り添っていききたいものです。

【引用】青木省三著『思春期の心の臨床 第三版』金剛出版 2020

## 児童養護施設

### ムラカミホーム 自立に向けて

児童指導員 直野 弥呼

現在、支援学校に通う高校3年生の女子を担当しています。彼女が中学3年生の時に担当になり今年で4年の付き合いになります。当時は、考え方もまだ幼く、試し行動や愛着の問題もあり担当者の私とぶつかり合い、時には2人で涙を流すこともありました。しかし、その度に2人の絆や関係性も深まっていったようにも感じていました。私自身、彼女のことをもっと知りたいという考えから、2人だけの時間を設定したり交換日記を始めたりとその日の出来事や楽しかったこと、悩みなどを共有し合っていました。その成果もあつてか、徐々にお互いの性格など分かり合い、一緒に成長して乗り越えていくことも増えていきました。

そんな彼女も今年で高校卒業、栄光園卒園を控えています。今まで一人では経験しなかった病院受診、お弁当づくりなどの調理、ATMでの預金管理など少しずつ自立に向けての準備を行っています。ホーム職員間でも連携を取りながら、彼女の特性を考慮したうえで対応を行っています。「分からない」と焦ってしまい、挫けることがあります。しかし、それは当然のことだと

思います。「分からない」と気付くことが大事。失敗しても良いから、まずは自分で調べて実行してみようと伝えていきます。私たち職員も分かるまで丁寧な教え、寄り添っていきます。そして、そこから、教えてもらったことを元に自分の力でやっていくことが「自立」までの道のりだと私は考えています。

卒園までに全てのことを自力でやるには限界や課題があります。しかし、好奇心が続くようなサポートをしていくのも私たち職員の役目だと思っています。自信を持って、胸を張って、栄光園を巣立って行く日を楽しみに、残りの生活を大事に過ごしてもらいたいと心から願っております。

### ノマチホーム コロナ禍の花見

保育士 豊島 央

4月の花見では、久しぶりの再開ということもあり、子どもたちは朝からテンションが高く積極的に職員の手伝いをして、とても楽しみにしている様子が伺えました。コロナ禍ということもあり、他のホームとは距離をとっての花見となりましたが、美味しいお肉ときれいな桜を存分に満喫していました。来年はコロナが終息し、他ホームとの交流ができる花見となるよう子どもたちと一緒に願って終えた花見となりました。

ゴールデンウィークのホーム行事では、高崎山の観光を予定していたのですが、コロナ感染者数が増加してしまい

ホーム内での行事に変更しました。措置延長児、高校生は割烹平家で海鮮丼のテイクアウトを注文し小中学生は寿司やピザをテイクアウトしました。普段食べべている職員の手料理とは違う、新鮮な海鮮やピザに大喜びでした。美味しいものを食べると自然と笑顔になり、会話も弾み、子どもたちにとって楽しい思い出となったようです。

次の行事は、夏休みにデイキャンプを予定しています。コロナが終息し楽しい夏休みの思い出として無事にキャンプに行けることを願っております。



## 乳児院

日に日に暑さが増し、夏が来たことを肌で実感できる季節となりました。

乳児院の子どもたちは、暑い中でも戸外に出て水遊びや散歩に出かけ、元気に遊んでいます。引き続き、コロナ対策も含め、大人も子どもも脱水症にならないように気を付けながら暑い夏を乗り切りたいと思います。

## 「できちゃった!!」

保育主任 得能 三志郎

ある日の出来事。午睡から目覚めるのが早かった3カ月のAくん。たまたまそばに居た私が別室と一緒に過ごしていました。Aくんは横向きになったり、体をねじらせることが増えていましたが、まだ寝返りをしたことがありません。私が傍で「いないいないばー」や一緒に横になり顔を近づけたり、口で音を出してスキップを図っていると、本児は楽しかったのかゲラゲラと笑いながら横向きになり、体に力を入れた瞬間、「ゴロン」と人生初の寝返りができ、二人で顔を見合わせて、びっくり。初めての寝返りに立ち会うことができました。その1回の寝返りをきっかけに、次の日には、何度も一人で寝返る姿が増えてきました。



子どもたちの成長の早さは目まぐるしく、生まれてしばらくして首が据わったかと思うと、1年後には一人で歩き始めます。成長の喜びや感動を子どもたちや職員と共有しながら、小さな変化や成長を見逃さないよう、丁寧な関わりを心がけていきたいと思えます。

### うさぎグループ紹介

うさぎグループリーダー 平野 智子

うさぎグループは、現在4名(2歳2カ月〜1歳1カ月)で生活しています。体力の差などもあり、朝食後は朝寝をすることもありますが、年齢差があります。上の子の遊びや言葉を真似し、できなかつたこと、言えなかつた単語が、出来たり、言えるようになったりと、日々小さな成長を感じています。

子どもたちは、水遊びや泥遊びが大好きで、自分から水の方へ行き触って遊びます。雨上がりには水溜まりの中に入り足踏みして遊びます。また、遊具などの隙間の水溜まりを見つけるのも上手く、みんなで集まっている所に行くと、水溜まりがありました。一人が触り始めると、「ぼくも」「わたしも」と手を伸ばし触り、大笑いしながら遊びます。「パチャパチャだね」と伝えると、「あーあー」と手を見せ、手が汚れたことを知らせる子もいました。気温差もあるため、体調面に十分気を付けながら、たくさん経験や体験ができるようにしていきたいと思えます。また、成長や発達を促していけるように、寄り添いながら、一人ひとりにあった支援を心がけていきたいと思えます。



### 青山保育所

#### 七夕飾りを作ったよ☆

保育士 荒金 由妃

きりん組3歳児のお友だちは7月の七夕に向けて七夕飾りを作りました。星をイメージして綿棒でスタンプを押したり、千代紙で織姫や彦星の服を作ったり、クレヨンで顔を描いたり様々な道具を使って作りました。

現在のきりん組の子どもたちは、机に座って行う遊びがとても集中できていると感じ、今回は細かな工程を増やすことにしました。予想通り見本をよく見て真似するのがとても上手で驚きでしたが、「分からんけん一緒にして」という声も多数聞かれました。しかし、「わからない」と自分の意思を伝えることが大事であり、それを解決しようとする姿が見られとても嬉しかったです。



#### 上手に割れたよ!

保育士 松本 真人

ぞう組(4・5歳児)ではスイカ割りをして楽しみました。初めてスイカ割りをする子も多く、見本を見せると「できるかな?」と少し不安な声も上がっていました。いざ始めてみると友だち



の応援を受けながら上手にスイカに当てることができました。最後は、保育士もお手伝いをしてみんなでスイカを割り、給食のデザートで美味しく味わっていました。

季節の遊びを通して、普段では味わえない体験や様々な食べ物に触れる機会を取り入れていきたいと思えます。



#### 手洗い、ゴシゴシ

保育士 尾原 亜紀

夏の時期はさまざまな感染症にかかりやすい季節です。予防に効果的なのは、手洗いと言われています。うさぎ組の0歳、1歳児は、外から帰ってきた後や給食・おやつの前に保育士と一緒に手を洗います。まだ一人では上手に洗えないのですが、「おてて、洗うよ」と声を掛けると、袖をまくる仕草をしたり、手をパチパチしながら手洗い場の方へ来たりするようになりました。「泡、ブクブクね。」「バイキンさん、バイバイ!」と声を掛けると

自分で手をこする姿も見られ、「きれいなったね」と言う嬉しそうな声を出しています。保育士と一緒に手洗いしながら、暑い時期を元気に過ごせるようにしていきます。

#### 保育参観

保育士 結城 奈津美

5月末日から3日間に分けて保育参観を実施しました。保護者の皆様には、感染対策にも協力していただき、久しぶりの保護者参加の行事が行えました。1日目は「ボールで遊ぼう」、2日目は「新聞紙で遊ぼう」、3日目は「クレヨンで遊ぼう」の遊びを行いました。

子どもたちが、日頃どのような流れで保育所での生活を送っているのか。また、お友だちとどんな風に遊んでいるのかなど、色々な姿を見ていただけたと思います。保護者の方からは「家では自分のことは全くしないのに。」「野菜食べてる!」などの声も聞こえてきました。集団生活ならではの子ども同士の間でやるべき姿も見ていただくことができたいと思います。子ども一人ひとりが持つ「できる力・やろうとする力」を大切にしながら、これからも保育をしていきたいと思えます。



### 雲がうごいちゃん!

主任保育士 二宮 孝介

大型絵本を読み聞かせする機会がありました。『ころわんとしろいくも』という絵本です。夏のある日、犬のころわんが空に浮かんでいるしろいくもがさまざまな形に見えることに気づき、そのことをお友だちのころわんやねこちゃんに教えてあげてどんな形に見えるかを一緒に見て楽しむといった内容です。

子どもたちは興味があつたようで、集中して絵本を見ていました。その後あるお友だちがテラスに出て空を見つめていたので声をかけると、目を輝かせながら「先生見て、雲が動いちゃん」と私に教えてくれました。その日は風が強く、雲が西から東に勢いよく流れていました。絵本がきっかけで空を見上げてみると、雲が刻々と形を変えながら動いていく、その不思議さに興味を持ったようです。「雲が動いちゃんね」「不思議だね」と共感することを意識して言葉かけをしました。

園内研修の中に子どもたちが発見した気づきに共感して言葉で返すことで、その発見や気づきを認めることになり、次もやってみようという態度を育て、遊びが続くというものがありません。

雲の動きに気づいたお友だちが、今回の関わりによって、興味関心の幅が広がったり、遊びへの意欲につながるといいなと思います。今後も丁寧な言葉かけを心がけようと改めて思いました。

### 野口保育所

主任保育士 末吉 佳奈

新年度がスタートして3カ月が経ちました。子どもたちは毎日楽しく過ごしています。7月からは楽しみにしていたプールや水遊びも始まりました。子どもたちの様子を少しずつですが、お伝えしたいと思います。

### 子どものお楽しみ週間

今年4月22日～5月2日を子どもの日のお楽しみ週間として、各クラスで「子どもの日」の由来の話を聞いたり制作や遊びを取り入れ過ごしました。園庭の大きなこいのぼりに子どもたちは大喜び!

給食の先生が作ってくれた子どもの日のお楽しみ給食やおやつは好きな物ばかりで、とても喜んでいました。



### 豆苗の観察や野菜の苗植え

食育の一環として、今年1・2歳児が身近な野菜の生長観察と収穫するために豆苗を、3・4・5歳児はクラスで育てたい野菜(トマト・きゅうり・ピーマン)の苗植えをしました。毎日のびる豆

苗を見て驚いたり、収穫する時には0歳児も保育士と一緒に収穫をしました。



収穫した豆苗を給食の先生の所に持って行き、その日の給食のサラダに入れてもらって食べたたり、3・4・5歳児は自分たちが植えた苗に毎日水をあげ観察して収穫できる日を楽しみにしているようです。保育目標の一つである「食育を通して楽しく食事をする保育」を目標にこれからも野菜の生長や収穫を通して、食べ物の大切さや収穫の楽しみなどを知ってもらえたら嬉しいです。

### 正しい手洗いをしよう



感染症の多くは手を介して人から人へとうつるといわれています。子どもたちが一番手軽にできる感染症予防として野口保育所では6月を「手洗いの月間」とし、紙芝居や絵本などを通して改めて手洗いの大切さを子どもたちに話をしました。これからも子どもた

ちへ楽しく手洗いの大切さを伝えていきたいと思えます。



### 園内研修・保育カウンセラー

今年度より九州産業大学子ども教育学科の阿部敬信先生において頂き、一人の成長に合わせて寄り添える保育を目指し、園内研修を行なっています。また法人内の保育カウンセラーの井生浩之心理士にもおいで頂き、保育園の職員間の連携をより深めるための活動や、園児の気持ちに気付けるように勉強もしています。

阿部先生や井生心理士、ご家庭にもご協力いただき、保育園と連携しながら子どもたちがよりよい育ちに向かっていけるよう、また良い支援が出来るようにしたいと思います。

### 保育コーディネーター研修を受けて

保育士 坂本 聖子  
昨年度、保育コーディネーターの資格を取得するため、一年間勉強させて頂きました。

「保育コーディネーター」とは、特別な配慮が必要な児童や家庭に応じた専門的な支援を行うとともに、関係機関と

地域交流事業  
**集いの場くるみ**

地域支援担当 原田 康子

2022年「集いの場くるみ」は、4年目を迎えます。2年目から新型コロナウイルスの感染が広がり、思うような活動ができない状況が続いており、毎週知恵を絞りながら続けてまいりました。感染拡大がひどい状況の場合、お休みをしましたが、2021年度は、7回の活動を行うことができました。皆様のご協力に感謝いたします。また、2021年度より中学生のボランティアが活動を支える側として参加し、「ぐるみ」のスタッフとして一緒に活動を支えています。子どもたちが少しずつ主体的に地域社会に関わっていきけるよう配慮して参りたいと考えております。

連携・協働して、適切な時期に適切な支援につなげることが出来る専門的保育者です。「保育所などに求められている役割と期待、配慮が必要な家庭への支援」など保育所等に必要な全7回の研修を受講しました。どの研修も今すぐ必要なこと、今後に生かせる内容ばかりでした。今後は勉強させて頂いたことを保育に生かし、子どもたちはもちろん、保護者の方にも寄り添える保育者でありたいです。



米がどうやって出来ているのかを知りませんか。また、楽しみは、収穫したお米を食べることだという事です。

くるみが子どもたちと地域の方々に関わる一つのきっかけとなり、子どもたちが、地域の中でのびのびと安心して過ごすことができるようになってほしいと願っております。誰も置き去りにしない温かい社会の構築を目指し今後歩みを進めてまいります。皆様のご支援のほどよろしくお願い致します。

**バケツ稲づくりに挑戦!**

今年、バケツ稲づくりに挑戦し、半年かけてお米作りをしていきます。JA様のご協力で、「バケツ稲づくりキット」をいただきました。バケツの中に水田と同じ環境を作り稲を育てます。第1回目の5月は、モミまきをしました。5日前から種もみを水につけ芽出しをし、活動当日の朝には、モミ種にかわいい小さな白い芽が出ていました。そして、いよいよ田植えの準備です。バケツに土を入れ、水と混ぜ合わせます。力のいる作業で、子どもたちは、スコップに力を込めて混ぜ合わせていました。いい泥の状態になったら、大切な種を一粒ずつ丁寧に蒔いていきました。最後のアンケートによると、ほとんどの子どもは、お米がどうやって出来ているのかを知りませんか。また、楽しみは、収穫したお米を食べることだという事です。

**夏フェスに参加します!**

別府競輪場で開催する夏フェス「子ども屋台」に参加します。子どもたちが主体的にお店の運営に関わります。出店準備や接客など、子どもたちの頑張りに期待しています!

日時：2022年8月11日(山の日) 10:00~15:00

場所：別府競輪場

秋の実りが楽しみなのと同時に、実らせないとがっかりさせてしまうなというプレッシャーにもなりました。まだまだいろいろな工程が待っています。お米作りの大変さを実感しながら栽培していきたいと思えます。

第2回目の6月は、「苗移し」をしました。一般的には、「田植え」です。先月蒔いたモミ種が、立派な稲苗に生長し、約20センチくらいの草丈となりました。手で、優しく稲苗を採っていく作業には、苦戦していましたが、大人の力を借りながら植え替えを終わらせることができました。「泥が気持ち悪かった」という声も聞かれました。あまり泥に触れる経験がないためかもしれません。また、リーダーの子どもたちが、年下の子どもたちを気遣いながら活動している姿に成長を感じました。

稲づくりに詳しい方がいらっしゃいましたらご指導をお願い致します。



**おもちゃライブラリー開設のお知らせ**

今年度8月より「NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ」様と「東京おもちゃ美術館」様の連携事業である「子ども食堂おもちゃライブラリー」を「集いの場くるみ」で開設することとなりました。

遊びを通したコミュニケーションの豊かさを目指す「東京おもちゃ美術館」の選定したおもちゃを使った遊びで生まれる心の栄養を子どもたちに届けていきたいと考えております。

開催日時：毎月第1・第3土曜 12:00~14:00

開催場所：栄光園内

※貸し出しについての詳細は、「栄光園 集いの場くるみ」までご連絡ください。連絡先/☎0977-23-2827(担当：原田)

**あずま袋を作りました**

近くにお住いの村津様に教えていただき、あずま袋を作りました。小中学生が参加し、真剣な眼差しで制作に取り組んでいました。慣れない針仕事ですが、教えてもらいながら作業を進めていました。縫いあがると、ドキドキしながら袋を広げ、出来上がりを確認した時には、ほっとした笑顔を見せていました。

今後もモノづくりの楽しさを共有し、ゆったりとした気持ちで過ごす時間を大切にしていきたいと思っています。



### 乳児院

院長 安西 恵子

#### I 管理運営

- 人事及び職員構成
  - ・2021年度 新規採用 2021年4月/保育士1名  
8月/調理員1名(パート)
  - ・2022年度  
人事異動 2022年4月 保育士1名 青山保育所へ  
新規採用 2022年4月 保育士2名  
常勤職員→正規職員 2022年7月 看護師1名  
育児休業中 保育士1名  
・2022年度職員配置状況 38名(嘱託医を含む)/心理士…求人中
- 入退所児童状況(定員20名)
  - ・2022年7月1日現在 措置児童…10名 一時保護…6名
  - ・2021年度 入所人数…19名 退所人数…22名
  - ・ショートステイ・トワイライト受け入れ件数135件 延べ日数384日
  - ・里親レスパイト 受け入れ件数15件 延べ日数69日

#### II 2022年度の支援目標

- ・養育支援…個別の関りの強化  
小規模化を進め一対一で関わる時間を増やす  
保育内容の見直し  
支援書類を見直し保育の充実を図る
- ・看護…病院や訓練機関と連携し看護支援の強化を図る
- ・栄養…摂食指導を強化し、個別の食事支援の充実を図る
- ・家庭支援…家庭引き取りに向けた支援(保育所償らし保育、病院受診の保護者同行支援等)/引き取り後のアフターフォロー
- ・里親支援…フォスタリングチェンジプログラムの開始/里親委託後の訪問支援/レスパイトの受け入れ/入所児童と里親のマッチング調整/里親委託児童と実親との交流支援
- ・母子支援…地域支援/ショートステイ児の訪問支援/産前産後訪問支援
- ・家事支援…入所児童宅の引き取り前からの環境整備/  
ショートステイ児宅の環境整備/入所児童の引き取り後の栄養・調理支援/ショートステイ児宅や特別養子縁組里親への栄養・調理支援
- ・父親支援…入浴介助支援/病院受診の仕方/病気や怪ものの対応/遊ばせ方や寝かしつけの対応等

### 児童養護施設

施設長 岡田 豊弘

#### I 管理運営

- 人事及び職員構成
  - 退職者(2021年度)…なし
  - 新採用者(2022年度)…1名(児童指導員)
  - 2022年度 職員配置  
【本体施設・地域小規模児童養護施設】  
施設長1名、総主任/個別対応職員1名、事務主任1名、ケアワーカー 28名(児童指導員12名、保育士13名、調理員等3名)、臨床心理士1名、管理栄養士1名、看護師1名、家庭支援専門相談員2名、里親支援専門相談員1名、職業指導員1名、地域支援コーディネーター1名、嘱託医(1名)、食育SV(1名) 計39名
- 入退所児童状況
  - 児童在籍者数31名  
(2022年7月1日時点、進学による措置延長者2名含む)  
(本園26名・地域小規模5名)
  - 入所児童数 4名(2022年3月~7月時点)
  - 退所児童数 7名(2022年3月末時点)(就職2名、福祉就労2名)

#### II 児童支援 事業計画の大きな柱は下記のとおりです。

- ① 小規模グループケア体制のさらなる充実  
(小規模グループケア・5ユニット)
- ② 個別的養育、治療的養育の充実  
・愛着障がい、発達障がい、難病、トラウマ等、困難を抱える子どもに対する養育の充実
- ③ 自立支援計画表に基づく養育支援の充実  
・アドミッションケア⇒インケア⇒リビングケア⇒アフターケア
- ④ 職員の専門性を高め、栄光園コミュニティとしての連携を高める  
・CSP等の養育技術の習得、新任・中堅研修など各種研修企画の合理的な実施
- ⑤ 子どもの権利擁護  
・子どもの意見表明権の保障、知る権利の保障のための仕組みの構築  
・被措置児童虐待等の予防・防止
- ⑥ 地域支援事業の展開  
・地域交流事業・子ども食堂「くるみ」の継続と地域課題、ニーズに即した事業展開

### 野口保育所

所長 工藤 直子

#### I 管理運営

- 人事及び職員構成
  - 退職者…保育士1名  
育児休業…保育士1名(9月より復帰)
  - 2022年4月1日職員配置  
施設長1名 主任保育士1名  
保育士…正規9名/パート4名  
栄養士…正規2名 調理員…パート1名  
嘱託医…2名(内科・歯科)

#### ●入所児童(定員60名)

	4月在籍数	3月在籍数
2021年度	58名	64名
2022年度	53名	

#### II 2022年度 事業計画の大きな柱

- 運営の組織化  
キャリアアップ導入により、副主任や分野別リーダーなど仕事の内容分散、明確化を図り職員それぞれ責任をもって職務を遂行できるような組織を築きあげていくように努めています。  
●職員で集まる会議(職員会議・給食会議・食育会等)開催。それぞれの役割が子どもたちにとってどう反映されているか見直し検討を進めました。
- 障害児保育の取り組みや家庭支援の必要な家庭を含む関係機関との連絡強化  
療育手帳所持児や障害児通所給付受給児をはじめ、子育てに悩んでいる家庭、要保護家庭など保育所だけでは解決できない問題など、関係機関と連携し子育ての拠点施設としての機能を強化できるように、積極的に連絡を取るようになっています。  
別府市の保健師さんとの電話連携、別府発達医療センターや障がい児発達支援施設を併用して通園をしている子どもが多いので、そこに携わっている方々との会議を行い、専門機関と連携する事で保育の内容なども個々に合わせ、子どもたちが伸びていけるように努めました。

### 青山保育所

所長 本庄 智宏

#### I 管理運営

- 人事及び職員構成
  - 退職者…保育士2名・調理員1名  
(2021年度)
  - 育児休業…保育士2名
  - 2022年4月1日職員配置  
施設長1名 主任保育士1名  
保育士…正規11名(うち2名育児休暇)/パート4名  
子育て支援員…1名 栄養士…2名 調理員…1名  
嘱託医…2名(内科・歯科)

#### ●入所児童(定員90名)

	4月在籍数	3月在籍数
2021年度	75名	89名
2022年度	89名	

#### II 2022年度 事業計画の大きな柱

- 障害児保育の取り組み  
療育手帳所持(特別児童扶養手当受給)の園児  
5歳児2名、4歳児1名  
障害児通所給付受給の園児  
4歳児1名、3歳児1名、2歳児1名
- 活動の取り組み  
別府発達療育センターや障がい児発達支援施設を併用して通園をしている子どもが多く、言語発達訓練を通して発語を促したり、粗大運動を通して動きがコントロールできるようになったりと、専門機関と保育所を併用することで個々の発達を促す成果となった。

### 法人単位資金収支計算書

自 令和3年4月1日 ~ 至 令和4年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	児童福祉事業収入	447,546,000	451,201,118	▲3,655,118
	保育事業収入	204,663,000	206,836,927	▲2,173,927
	経常経費寄附金収入	20,171,000	21,123,533	▲952,533
	借入金利息補助金収入	0	2,997	▲2,997
	受取利息配当金収入	16,000	8,641	7,359
	その他の収入	5,855,000	8,264,165	▲2,409,165
	事業活動収入計(1)	678,251,000	687,437,381	▲9,186,381
	支出			
	人件費支出	527,898,000	526,821,127	1,076,873
事業費支出	67,636,000	64,280,198	3,355,802	
事務費支出	32,195,000	36,175,451	▲3,980,451	
その他の支出	0	2,255,810	▲2,255,810	
事業活動支出計(2)	627,729,000	629,532,586	▲1,803,586	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	50,522,000	57,904,795	▲7,382,795	
施設整備等による収支	収入			
	固定資産売却収入	0	20,000	▲20,000
	施設整備等収入計(4)	0	20,000	▲20,000
	支出			
固定資産取得支出	3,217,000	3,570,920	▲353,920	
施設整備等支出計(5)	3,217,000	3,570,920	▲353,920	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	▲3,217,000	▲3,550,920	333,920	
その他の活動による収支	収入			
	その他の活動による収入	48,749,000	0	48,749,000
	その他の活動収入計(7)	48,749,000	0	48,749,000
	支出			
積立資産支出	96,054,000	101,626,320	▲5,572,320	
その他の活動支出計(8)	96,054,000	101,626,320	▲5,572,320	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	▲47,305,000	▲101,626,320	54,321,320	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	▲47,272,445	47,272,445	
前期末支払資金残高(12)	225,666,415	225,666,415	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	225,666,415	178,393,970	47,272,445	

### 2022年度寄付・招待・奉仕報告

項目	協力者人数	金額
賛助金	44名	823,500円
	子どもの養育の事業費等	
一般寄付	63名	19,660,386円
	高校生の部活 児童の習い事及び社会体験	
自立進学資金	29名	589,000円
	卒園者自立生活支援(無利子貸付と返済)等 進学児童(2名)・福祉就労児童(1名)に支給	
特別物品寄付 招待・奉仕	239名	
	農作物・菓子類寄付・本寄贈 芋掘り・学習ボランティア・ 散髪等・くすみボランティア	
計	385名	21,072,886円

### 社会福祉法人 栄光園

#### 評議員選任解任委員会

安東 秀典 滝口 真  
岡部 光瑞 桑野 誠  
吉本 安宏



#### 役員

理事長 江口 敏一  
理事 安部 保  
理事 猪股 通安  
理事 近藤 功  
理事 中島知夏子  
理事 本庄 智宏  
監事 吉本 安宏  
監事 滝口 真

#### 評議員

評議員 友永 丈一  
評議員 山名 睦子  
評議員 長野 哲也  
評議員 細井 勇  
評議員 平野紀美代  
評議員 影山 隆之  
評議員 文屋 典子

**聖書の言葉**  
 「いかに幸いなことでしょうか弱いものに思いやりのある人は。災いのふりかかるとき主はその人を逃れさせてくださいます。」  
 (詩編41編2節)

別府不老町教会伝道師 尾崎 二郎

6月24日の金曜学校では、「幸せなこと」と題してお話させて頂きましたが、皆で、「いかに幸いなことでしょうか…」で始まる聖書の言葉を聞き、讃美歌を歌う、大変幸せな時を過ごすことができました。

お話の中で、「幸せそうなことについても言及しましたが、それは次のようなことでした。SNSで幸せそうに何かしている友だちを見たら幸せそう。お金持ちで何不自由なく暮らしている人を見たら幸せそう。両親と共に暮らしている子どもたちは幸せそう…」

一方で、聖書には、「幸いであること」の具体的な様子が多様に描かれています。「主に信頼をおく人は」「あなたによつて勇気を出し心に広い道を見ている人は」「主を畏れる人主の戒めを深く愛する人は」「知恵に到達した人、英知を獲得した人は」「悪事に手をつけないうちに自戒する人は」…

ここでちょっと、「幸せそうなこと」と、「幸いであること」を比較してみましょ。今の世の中は情報で溢れていまから、私たちが幸せそうなることを見聞するのは容易いことでしょう。しかし、見聞できるからと言って、そのこと

が自分の幸いにつながることも多いことを私たちは知っています。それどころか、見聞ばかりしていると自分の内に嫉妬心という悪い心が生じてしまうこともあるかも知れません。

では、「幸いであること」はどうでしょうか。主イエスは、私たちに幸せであることを、御言葉によってストレートに伝えて下さいます。前に挙げました6種の幸いな人は、皆それぞれに幸いの人です。そして、その気があれば、私たちは今ここで、そのような幸せな人とされるのです。

「はっきり言っておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。」(マタイによる福音書25:40)

主イエスは、このように言われて、幸いの源が、この世での地位や力や優越にあるのではなく、主イエスに信頼して愛の業を行うことにあることを示されました。更に、「あなたがたは悲しむが、その悲しみは喜びに変わる。」(ヨハネによる福音書16:20)と言われて、私たちがこの世の悲しみにあっても、皆で幸せな時を過ごす時に、その悲しみが喜びへと変えられることを明言されています。

# 栄光園のご支援者

## ご支援ありがとうございます。

栄光園は多くの皆様の継続した温かい思いによって支えられてきたことを心から感謝いたしております。皆様のこのような思いは、子どもたちの成長に、また、働く私たち職員の励みに大変大きな力となっていることをいつも嬉しく思います。

【2022年4月1日～2022年6月30日(含む)】

## 賛助金

- 安部道人様 大分市
- 池田順行様 町田市
- 大内英明様 大分市
- 岡口文明様 大分市
- 川村隼秋様 熊本市
- 木村洋子様 大分市
- 立花且子様 大分市
- 帆足和生様 別府市
- 舛田泰義様 別府市
- 松本小児科医院 松本重孝様 別府市
- 松本常圃様 別府市
- 松本洋子様 別府市
- 山口産業(株)様 別府市
- 渡邊暁子様 別府市

## 一般寄付

- B混記念合唱団クルあおやま様 別府市
- 浅海重子様 西条市
- 岩田哲也様 大分市
- 匿名様 別府市
- 原順子様 別府市
- 村津忠久様 別府市
- 山口巧様 別府市
- 八代会会長 中根秀徳様 別府市
- 協力者 首藤広文様・中根伸一様 別府市
- 角野勝久様・河野一昭様 別府市
- 佐藤義弘様・浅野誠三郎様 別府市
- 佐藤聖二郎様・嶋田德行様 別府市
- 松尾拓也様・穴井伸一様 別府市

## 自立進学資金

- 梶原康弘様 大分市
- 神鳥慶子様 杵築市
- 平川順子様 別府市
- 匿名様 大分市

## 特別物品寄付

- じゃがいも・きゅうり 安部尚子様
- 乳児服 池田絢子様
- 衣類 池邊春奈様
- 玉葱・じゃがいも 伊藤一幸様
- 甘夏 上杉敬三様
- 米 笠口成男様
- 服 匿名様
- ベビー服 衛藤朱美様
- 米 荻原書籍様
- タオル 小代浩子(緒方町女性現職協会)様
- 食パン 銀座にしかわ大分明野店様
- 乳児服 工藤純子様
- パン ココラート様
- 米 後藤正己様
- 梅干し・きゅうり・米 後藤正勝様
- スタイ 佐々木英理様
- 乳児服・お菓子 佐藤尚子様
- 図書カード JETBOOK作戦様
- 絵本 塩田久美様
- お菓子(こどもの日) 柴田佳代子様
- お菓子・ホットケーキミックス・レーストイリー 生野裕子様
- 土壌改良剤・花の種 食卓クラブ様
- 花 神保吉之助様
- お菓子 ダイヤモンドグループ(株)様
- お菓子 ダイヤモンドホールディングス(株)様
- とうもろこし・きゅうり 高橋恵一様
- チョコレート Daska&Desire様
- おもちゃ 戸高謙太郎様
- タオル・石鹸 利根栄市様
- パン 友永優子様
- 乳児服 友永優子様
- 乳児服・お菓子 友永優子様
- 乳児服 佐藤由希(アールブルー)のお客様
- キーボード・イージーライティングボード・バスケットボール 中島知夏子様

- いちご 中山田正春様
- 筍・うど・菜の花・里いも・桑の実・梅・びわ 二宮洋典様
- 筍・鶏肉 日本恵教会様
- マスク 萩本憲次様
- 甘夏 東藤信様
- おもちゃ・バスタオル・お菓子 代表 Kie様

- 服 姫路楓様
- じゃがいも 里の駅ふるさと市場 木付弘子様
- きな粉 (株)豊豫物産 会長 三ヶ尻英明様
- カレーフレック (株)三和商事 松村有格様
- 甘夏・玉葱・筍 むぎの会様
- 乳児服 (有)ムラセ運輸 村瀬久美子様
- 衣類・布団・ランドセル・雑貨 明治安田生命大分支社様

- 招き猫大将 門司一徹様
- いちご牛乳
- みどり牛乳森販売店 代表 森広行様
- 衣類・おもちゃ 山口幸恵様
- お菓子 ユーコーラッキーウエスト 上ノケ浜店様
- 乳児服 吉田幸恵様
- 絵本 (株)喜成工業 代表取締役 茅野喜嗣様

## 招待・奉仕

- 書道 荒金節子様
- 金曜学校 尾崎二郎様
- 集いの場くるみ ボランティア 平川義文・平川順子様
- 散髪 西村大輔・中村雄一様
- 手芸指導 村津奈穂様

## 賛助会員募集

年会費、一口千円、但し、何口でも、分割も可。  
ご連絡いただければ職員が参上します。栄光園賛助会事務所は、別府市南荘園町3組です。  
賛助会員の皆様には、栄光園の広報誌「栄光園だより」を送付させていただきます。

郵便局での振込は左記までお願い致します。  
□座名義 社会福祉法人 栄光園  
□座番号 01933002200748

## グレースホームの集い

### “夏の集い”延期のお知らせ

栄光園を巣立った卒園生、栄光園を支援して下さる皆様、そして、ここで生活している子どもたちや職員の集いの場として「バーベキューの夕べ」を例年8月に行ってまいりましたが、コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み残念ながら延期させていただきます。開催日時につきましては後日お知らせいたします。  
この夏の企画を楽しみに待っていてくださった方には大変申し訳ありませんが、今しばらくお待ちください。よろしくお願い致します。



### 苦情等相談窓口

\*法人および各施設での苦情等は下記の連絡先へご相談ください。  
tel.0977-23-2827  
fax.0977-23-7520  
mail eikoen@live.jp

## 編集後記

例年にない短い梅雨に、40度越えの猛暑。コロナウイルス感染に加え熱中症の心配など心配の種が尽きません。加えて物価の高騰、年金の支給額の減額など暮らしぶりの状況になってきているように感じます。身の回りの小さな幸せを見つづけることから日々の生活を見直してみようと思えます。相田みづの詩の中に「しあわせはいつもじぶんのこころがきめる」という詩があります。人がどう思うかではなく、自分がどう感じるか、どう思うかが大事なのではないでしょうか。まずは、小さな幸せに気づいていくことから始めてみようと思えます。こんな時代だからこそ心豊かに生活していきたいですね。(原田)